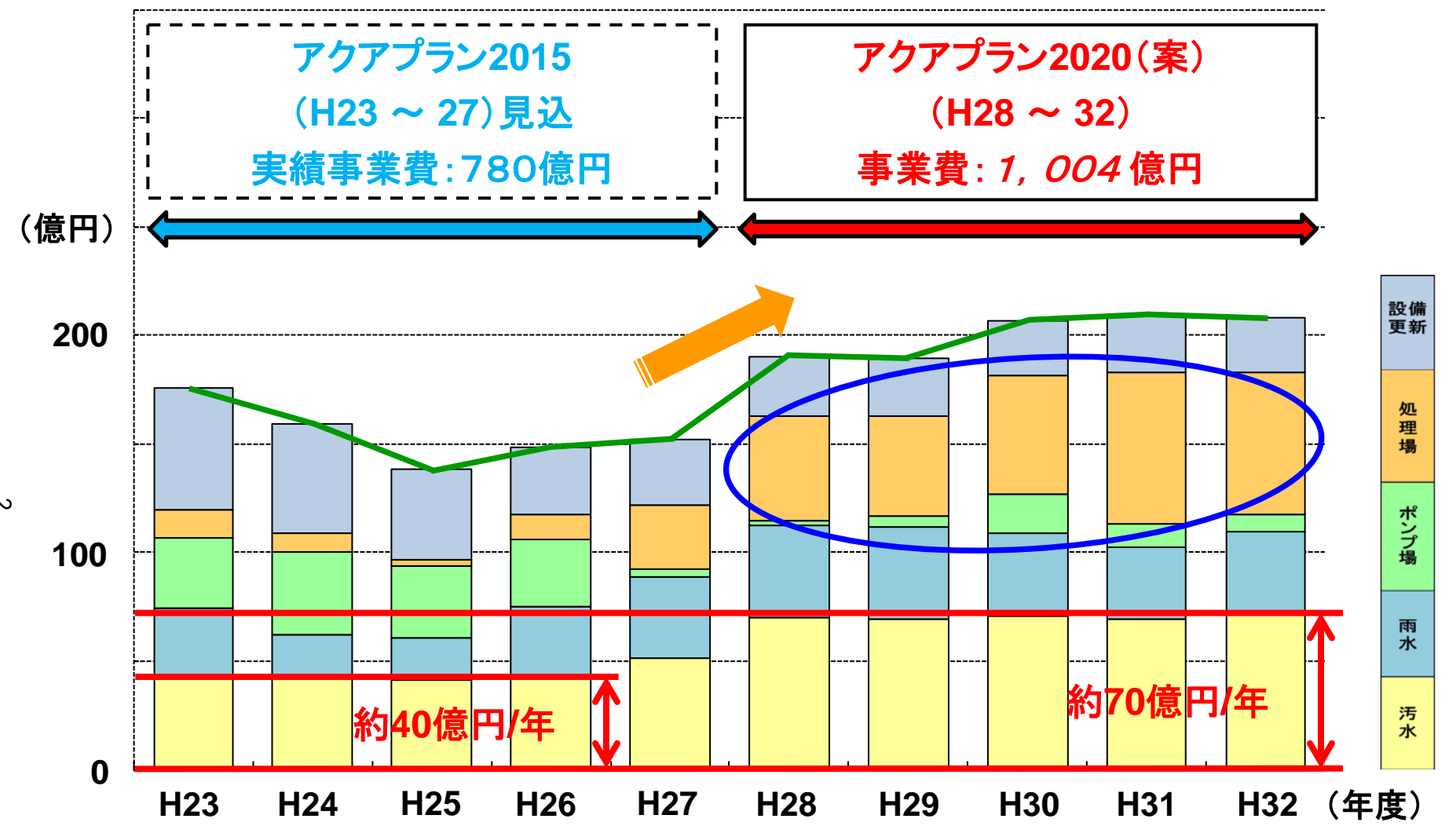


アクアプラン2020 建設投資額の推移

(単位:百万円)

基本方針	施策	事業	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計	
<p>安心で快適な市民生活と社会活動を支えます。</p>	膨大なストックの改築更新	污水管渠の改築更新	6,048	5,968	6,090	5,983	6,362	30,451	
		小計	6,048	5,968	6,090	5,983	6,362	30,451	
		西部処理場の改築更新	4,667	3,778	4,252	4,652	5,277	22,626	
		垂水処理場の整備	21	211	848	1,736	248	3,064	
		ポートアイランド処理場の改築更新	0	30	320	513	762	1,625	
		東灘処理場の改築更新	0	0	0	20	50	70	
		その他施設の改築更新	2,745	2,494	2,493	2,509	2,440	12,681	
		小計	7,433	6,513	7,913	9,430	8,777	40,066	
	改築に併せた施設の耐震化	管きよ(污水)の耐震化	960	960	960	960	960	4,800	
		処理場・ポンプ場の耐震化	205	180	180	85	175	825	
		小計	1,165	1,140	1,140	1,045	1,135	5,625	
計			14,646	13,821	15,143	16,458	18,274	78,142	
<p>浸水に強い安全なまちづくりを進めます。</p>	浸水常襲地区等の整備促進	重点地区、浸水多発地区の整備	3,033	1,828	764	317	583	6,525	
		魚崎ポンプ場の改築更新	101	370	1,542	919	623	3,555	
		宇治川ポンプ場(雨水)の改築更新	0	0	95	95	200	390	
		小計	3,134	2,198	2,401	1,331	1,406	10,470	
	改築に併せた施設の能力増強	雨水管渠の改築更新	858	2,061	2,700	2,657	2,579	10,855	
		管きよ(雨水)の耐震化	334	403	362	355	457	1,911	
		雨水ポンプ場の施設整備	64	144	64	72	88	432	
		小計	1,256	2,608	3,126	3,084	3,124	13,198	
	計			4,390	4,806	5,527	4,415	4,530	23,668
	<p>良好な水環境と資源再生による循環型社会の実現に貢献します。</p>	資源の有効利用	玉津処理場 消化ガス活用設備	0	500	0	0	0	500
ポートアイランド、六甲アイランド再生水事業			15	15	15	15	15	75	
小計			15	515	15	15	15	575	
計			15	515	15	15	15	575	
合計			19,051	18,942	20,685	20,888	20,819	100,385	

アクアプラン2020 建設投資額の推移

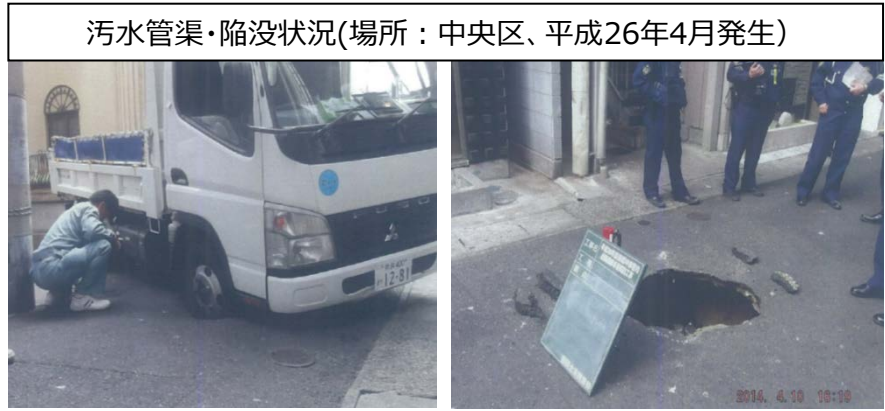
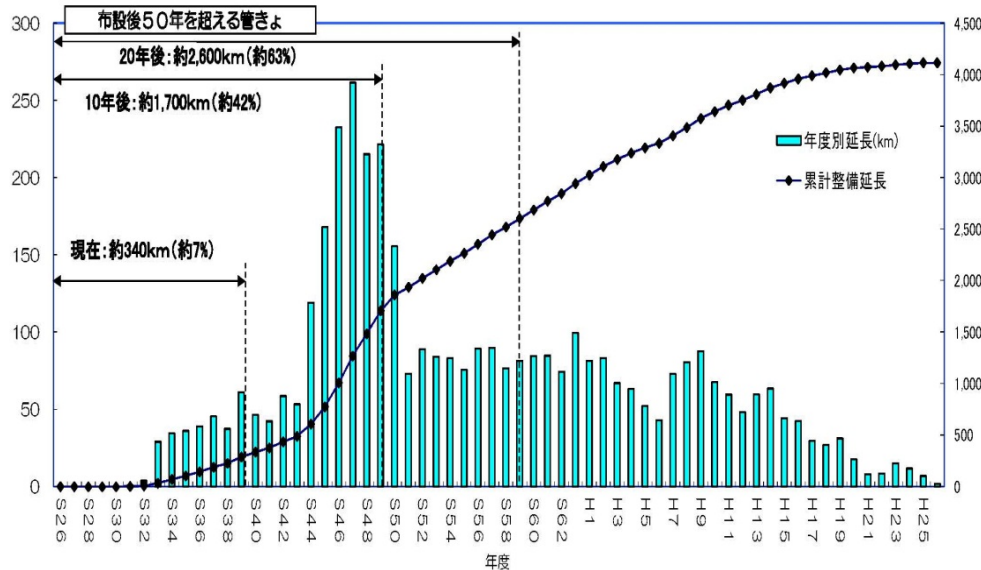


- ① : 汚水管きょ改築更新の加速 ⇒ 25km/年(40億円/年) → 45km/年(70億円/年)
- ② : 処理場等の大規模施設改築 ⇒ 西部処理場(北系)など
- ③ : アクアプラン2015に比べて、建設投資額が増加

膨大なストックの改築更新（污水管きよの改築更新）

◆事業の背景・目的

- 平成26年度末の污水管きよ延長：約4,100km
- 高度成長期に集中的に布設したため、老朽管が加速度的に増加する

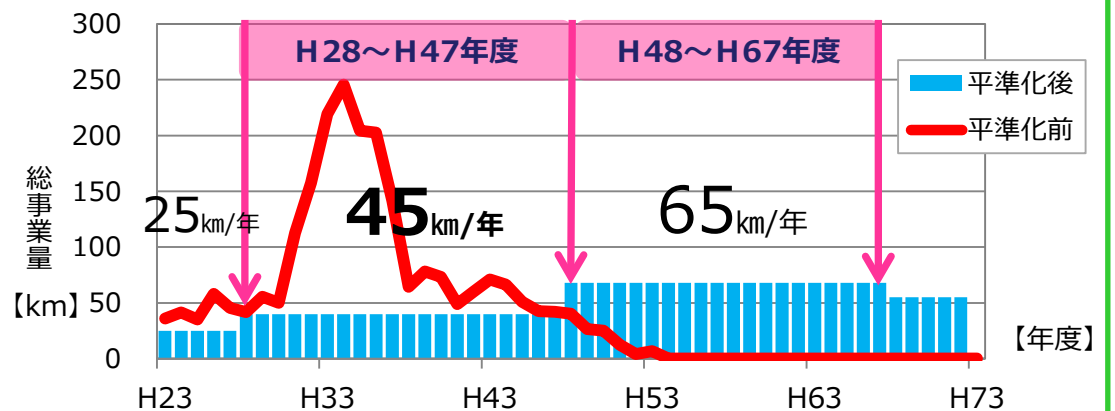
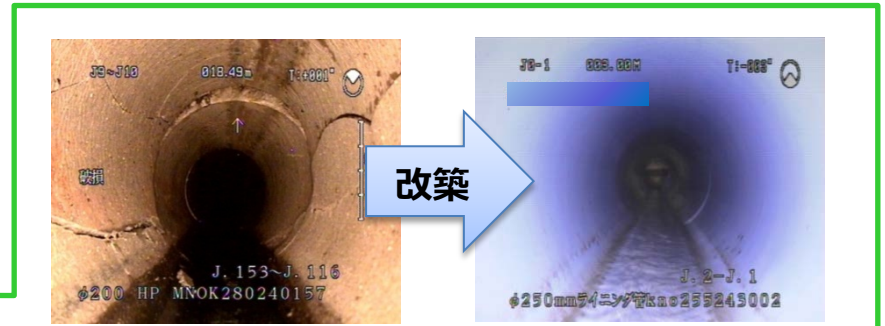


◆事業の概要

污水管きよの改築更新基本計画

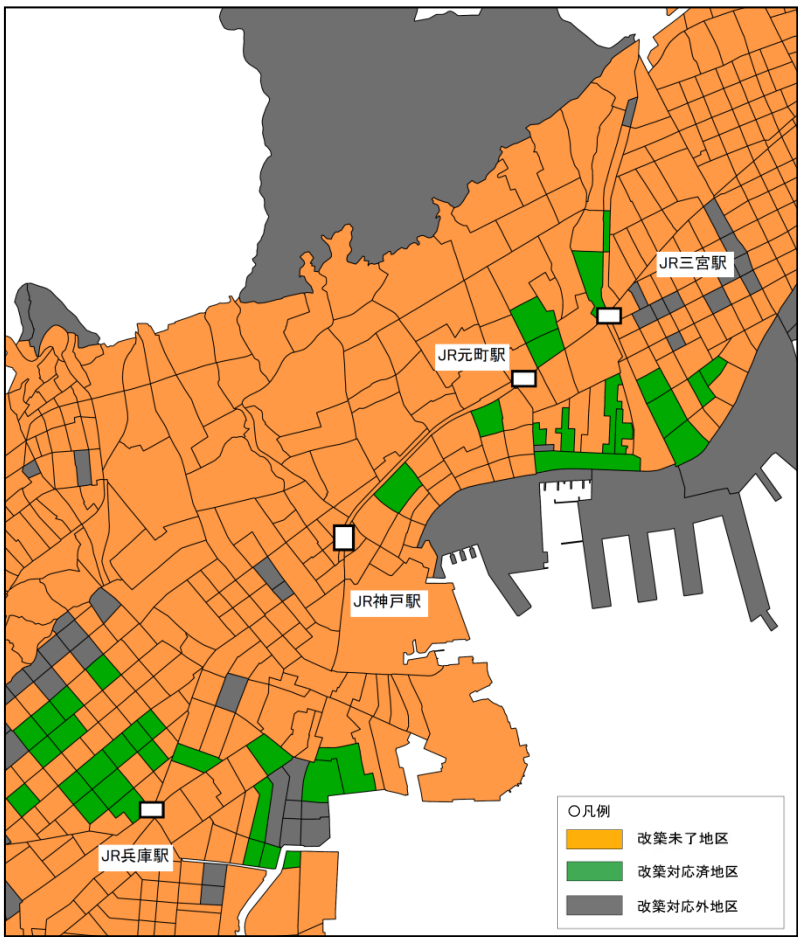
H22年度に污水管渠改築更新基本計画を策定し、
H23年度より本格的な改築事業に着手

- 高度成長期に集中的に布設した鉄筋コンクリート管 約2500kmを対象とした計画
- 鉄筋コンクリート管の使用限界は80年と設定
- ライフサイクルコストを最小に抑制するために機能が維持されている段階で改築更新を予防保全的に実施
- 改築時期を前倒し、後送りし事業費を平準化
- 道路掘削が不要で経済的な更新工法を採用

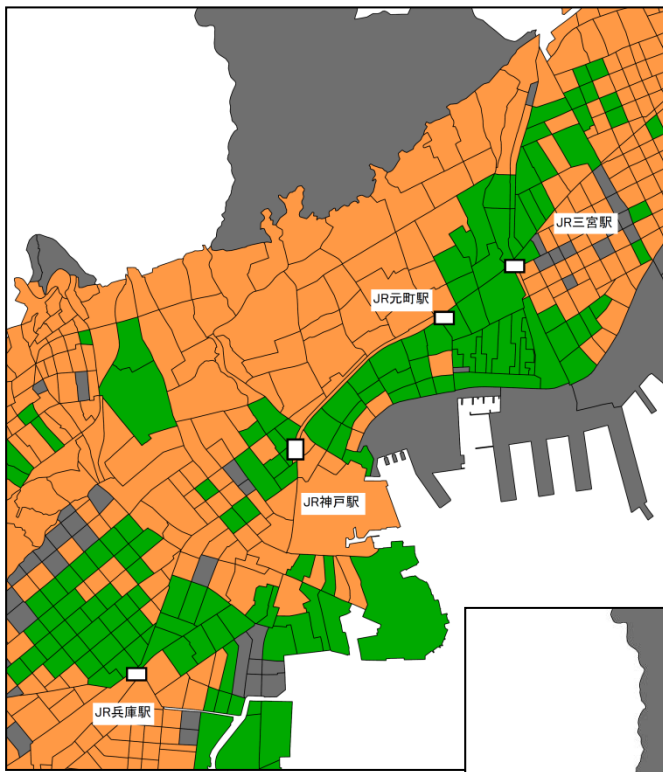


污水管きよの改築更新 進捗状況イメージ図 (JR三宮・神戸駅周辺)

(平成27年度末)



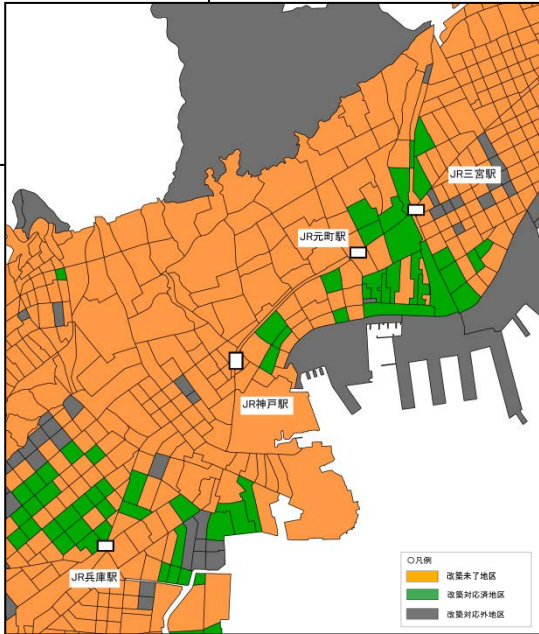
(平成32年度末)



【計画どおりに
実施した場合】



【現状のペースで
推移した場合】



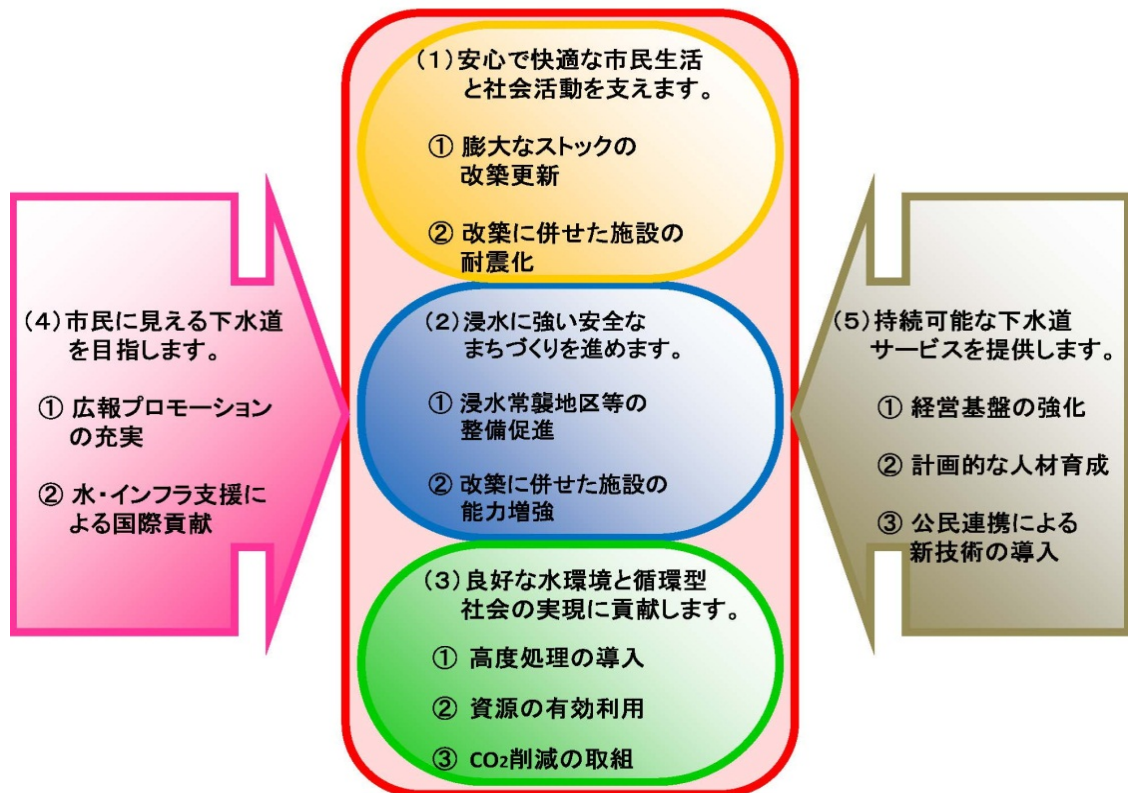
「こうべアクアプラン 2020」

～ 「輝ける未来創造都市の実現」を支える下水道 ～

○下水道事業を取り巻く状況と課題

- ・ 増大する老朽化施設（高度成長期に集中的に整備した下水道施設の改築更新）
- ・ 自然災害（近年多発する都市型集中豪雨、大規模地震への備え）
- ・ 地球温暖化、資源・エネルギー需給の逼迫（化石燃料、鉱物資源の枯渇）
- ・ 使用料収入の減少、改築更新事業の加速による投資の増加

○基本方針と施策



(施策の具体的な内容)

- 膨大なストックの改築更新 ⇒ 予防保全型の改築更新により、信頼性（安全性）を向上
 - ①汚水管きよの改築事業量を現状の2倍程度に加速
 - ②西部処理場など大規模施設の改築更新事業の実施
- 浸水常襲地区等の整備促進 ⇒ 西河原地区の浸水対策、魚崎ポンプ場の改築更新
- 資源の有効利用 ⇒ 「こうべ再生リン」、玉津処理場での「こうべバイオガス」導入
- 公民連携による新技術の導入 ⇒ 民間との技術開発の促進を図り、人材育成、技術の継承を推進
- 広報プロモーションの充実 ⇒ 体験型広報の実施、行政と市民の双方向による広報活動
- 経営基盤の強化 ⇒ 使用料収入の減少及び投資の増加への対応